

29 年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭（1種・2種）免許取得特例講座	
授業科目名	I 教職の意義、教員の役割・職務内容
担当講師名	上村 晶（①～⑧）、林 陽子（⑨～⑮）
PowerPoint	使用する

授業概要と方法

前半（①～⑧）では、幼稚園教育における教職の意義や教員の役割・職務内容について、総論的な理解を深める。後半（⑨～⑮）では、教育という営みの特質を踏まえて、教師の専門性について、個々の教師の資質・能力とその開発という側面と、組織における協働を通じた教育の質の向上及び教師の職能成長という側面から検討する。

授業の到達目標

1. 幼稚園教育における教職の意義・教員の役割・職務内容について多様な社会的観点から論理的に説明できる。
2. 教師の専門性の特質について理解し、その成長を促す教師個々のあり方及び教育組織のあり方について自分なりの見解を持つことができ、教育の質の向上への具体的な取組みについて考察できる。

授業外に行うべき学修活動（準備学修・事後学修）

現代社会における教師の役割や求められる資質及び専門性、教育組織のあり方、教育の質の向上などについて、予め私見をまとめる・多様な見解を整理するなどの準備をしてから受講することを期待します。

評価方法：（筆記・レポート・作品提出、日常評価等）

前半（50点満点）は、授業への取り組み（5点×2）と第4・8時限目に行う確認テスト（20点×2）で評価する。後半（50点満点）は、授業への取り組み（10点）と第15限目に行う確認テスト（40点）で評価する。

参考図書等

レジュメ及び資料（幼稚園教育要領・幼稚園教育指導資料集等）を配付する。参考図書等は適宜紹介する。

その他（受講上のアドバイス等）

授業内容の構造や展開に意識を向けて、短絡や分断に陥らないようにノートの整理などを心がけてください。また正しい知識を得ようとするのではなく、自身の保育者としての経験に照らして、自分なりに考察することを勧めます。

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など（授業の中に試験を含まない場合は、16時限目が試験となります）
1	7/15	子どもを取り巻く環境の変化と幼稚園教育の意義
2	7/15	幼稚園教育の歴史的背景
3	7/15	幼稚園教育要領にみる教師の役割とは
4	7/15	確認テスト①とまとめ
5	7/16	現代社会における幼稚園教諭の役割
6	7/16	幼稚園教諭としての職務内容①
7	7/16	幼稚園教諭としての職務内容②
8	7/16	確認テスト②とまとめ
9	8/19	教師の専門性と省察的実践
10	8/19	幼児教育の特質と教育の内容及び方法に関わる教師の専門性
11	8/19	教育課程の編成と展開に関わる教師の専門性
12	8/19	組織的協働としての教育
13	8/20	教育の質を高める組織文化としての同僚性
14	8/20	教育の質を向上させる研修
15	8/20	確認テスト③とまとめ

29 年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭（1種・2種）免許取得特例講座	
授業科目名	Ⅱ 教育に関する社会的・制度的・経営的事項
担当講師名	金子 晃之(①～⑧)・林 陽子(⑨～⑮)
PowerPoint	使用する

<p>授業概要と方法</p> <p>第一に、教育の制度的事項として、日本の学校教育制度の概要・問題点・その改革について考察し理解する。第二に、教育の社会的事項として、学校教育の機能・役割・学校教育を支える環境の変化について理解する。第三に、教育の経営的事項として、幼稚園を主とした学校経営に関する組織・運営・評価・意義・方法・園長のリーダーシップ等について考察し理解する。</p>
<p>授業の到達目標</p> <p>幼稚園とその他の学校教育の制度・機能・経営・改革の動向・課題について総合的に理解し、教育現場の日々の実践を多面的に理解できる視点を得る。</p>
<p>授業外に行うべき学修活動（準備学修・事後学修）</p> <p>文部科学省、厚生労働省関係の資料や各自の地元自治体の教育・保育の関係資料などについてインターネットなどを活用して出来る限り読むなど、発展的な事前・事後学修を進めるようにする。</p>
<p>評価方法：（筆記・レポート・作品提出、日常評価等）</p> <p>前半①～⑧の授業では受講態度 20 点・筆記試験 30 点（計 50 点）、後半⑨～⑮の授業では受講態度 20 点・筆記試験 30 点（計 50 点）として、合計 100 点満点で評価する。</p>
<p>参考図書等 レジュメと資料を配付する。また参考とすべき図書を適宜紹介する。</p>
<p>その他（受講上のアドバイス等）</p> <p>前半の試験は⑧の時間内に行い、後半の試験は⑮の時間内に行う。</p>

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など（授業の中に試験を含まない場合は、16 時限目が試験となります）
1	7/1	教育の制度的事項 ①明治・大正期の近代学校制度の概要・問題点・改革
2	7/1	②戦前・戦後から 1980 年代までの学校制度の概要・問題点・改革
3	7/1	③1990 年代から現代までの学校制度の概要・問題点・改革
4	7/1	④チーム学校としての取り組みに期待されるもの
5	7/2	⑤学校教育を支える法律
6	7/2	⑥教員養成と教員免許
7	7/2	教育の社会的事項 ①学校教育の機能・役割
8	7/2	②学校教育と社会化 試験（1～8 回）
9	7/29	教育の経営的事項 ①教育行政と学校経営
10	7/29	②学校経営の基本とその過程
11	7/29	③学校経営と評価
12	7/29	④教育課程の経営（カリキュラムマネジメント）
13	7/30	⑤学校組織とリーダーシップ
14	7/30	⑥学級経営の意義と方法
15	7/30	⑦まとめ 試験（9～15 回）

29 年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭（1種・2種）免許取得特例講座	
授業科目名	Ⅲ 教育課程の意義・編成方法 ①～⑧
担当講師名	柴田 智世
PowerPoint	使用する

授業概要と方法

教育課程、指導計画には、私たちが「子ども」をどのような存在として捉え、どのような保育を目指しているのかという根本的な問いが描き出されるものである。そこで、それらを実現する方法について考え、具体的な指導計画の立て方について学ぶ。また、指導計画を作成するためには、子どもを観察するところから始まるため、観察の方法と記録の仕方についても理解を深める。

授業の到達目標

- ① 教育課程及び様々な指導計画の意義について理解する。
- ② 子ども理解に基づいた指導計画を作成することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

日頃から、身近な子どもの様子や言動に意識を向け、子どもが発信しようとしている思いを理解しようと努めること。

評価方法:(筆記・レポート・作品提出、日常評価等)

授業態度、レポート提出

参考図書等

『幼稚園教育要領』文部科学省、2008年
 『保育カリキュラム論』豊田和子・新井美保子編著、建帛社、2013年
 『子どもの姿から創りあげる人権保育カリキュラム～保育カリキュラム研究チーム報告集～』大阪保育子育て人権情報研究センター、2004年

その他(受講上のアドバイス等)

教育課程や指導計画には、その園の特徴や教育理念が表れている。「自分がこの園の先生だったら、どのような保育をするだろうか」という思いをもって講座にのぞんでほしい。

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など (授業の中に試験を含まない場合は、16時限目が試験となります)
1	9/2	カリキュラムの意義と子ども理解
2	9/2	元園長先生の講話から学ぶ
3	9/2	幼稚園教育要領における「教育課程」「指導計画」
4	9/2	指導計画の実際 (1) 長期指導計画
5	9/3	指導計画の実際 (2) 短期指導計画
6	9/3	保育の評価
7	9/3	幼小連携を目指す指導計画の工夫、幼稚園幼児指導要録について
8	9/3	学習のまとめ

29 年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭(1種・2種)免許取得特例講座	
授業科目名	IV 保育内容の指導法、教育の方法・技術 ①～⑧
担当講師名	小島 千恵子
PowerPoint	使用する

授業概要と方法

幼児教育における環境通した保育のあり方及び遊びを通した総合的な保育のあり方について、受講生のこれまでの保育経験や実践を関連させながら理解を深めるようにする。幼児教育の基本に立ち返り、これまでの保育実践を振り返りながら、今後の保育実践に有益な理論の獲得や体験的活動を提供して今日的な幼児期の指導のあり方を探求する。

授業の到達目標

3歳以上の幼児を対象にした保育における遊びを通した総合的な保育のあり方について、実践に即して理解するとともにその実践を理論と結びつけて考えることができるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

受講した内容について、今まで行ってきた保育実践と重ね合わせながら振り返りを必ず行うこと。そのことからの気づきを整理して、疑問は質問などして理解できるようにする。

評価方法:(筆記・レポート・作品提出、日常評価等)

日常評価、授業への参加態度、課題の提出など含め総合的に評価する。

参考図書等 幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(文部科学省・フレーベル館)

その他(受講上のアドバイス等)

持ち物 2日目の授業で**広告・新聞紙・色紙・はさみ**を使います。新聞を1人1日分・色紙を適宜用意してください。

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など (授業の中に試験を含まない場合は、16時限目が試験となります)
1	8/5	オリエンテーション 環境を通した保育のあり方
2	8/5	遊びとは? 子どもは遊びを通して何を学ぶのか
3	8/5	遊びとは? 遊びを通した総合的な指導のあり方
4	8/5	幼児の遊びと指導の実際 ひとつの遊びを分析してみよう
5	8/6	幼児の遊びと指導の実際 ルールのある遊びから
6	8/6	幼児の遊びと指導の実際 「自然」とかかわって遊ぶことから
7	8/6	幼児の遊びと指導の実際 子ども教師も“楽しい”と感じる遊びから
8	8/6	子どもは遊びを通して生きることを学ぶ 小レポート作成
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

29年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭(1種・2種)免許取得特例講座	
授業科目名	Ⅳ 保育内容の指導法、教育の方法・技術
担当講師名	吉見 昌弘(⑨～⑮)
PowerPoint	使用する

授業概要と方法

幼児教育における環境通した保育のあり方及び遊びを通した総合的な保育のあり方について、受講生のこれまでの保育経験や実践に関連させながら理解を深めるようにする。幼児教育の基本に立ち返り、これまでの保育実践を振り返りながら、今後の保育実践に有益な理論の獲得や体験的活動、情報機器の活用を提供して今日的な幼児期の指導のあり方を探求する。(小島担当：①～⑧、吉見担当：⑨～⑮)

授業の到達目標

3歳以上の幼児を対象にした保育における遊びを通した総合的な保育のあり方について、実践に即して理解するとともにその実践を理論と結びつけて考えることができるようにする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

受講した内容について、今まで行ってきた保育実践と重ね合わせながら振り返りを必ず行うこと。そのことからの気づきを整理して、疑問は質問などして理解できるようにする。

評価方法:(筆記・レポート・作品提出、日常評価等)

授業への参加態度、授業外(準備・事後)の学修態度、課題の提出など含め総合的に評価する。

参考図書等 幼稚園教育要領・幼稚園教育要領解説(文部科学省・フレーベル館)

その他(受講上のアドバイス等)

持ち物 8/6の授業で広告・新聞紙・色紙・はさみを使います。新聞を1人1日分・広告・色紙を適宜用意してください。

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など(授業の中に試験を含まない場合は、16時限目が試験となります)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	8/26	保育方法の理論と実際 幼稚園教育要領と教育・保育指針
10	8/26	保育方法の理論と実際 環境を通した保育
11	8/26	保育方法の理論と実際 保育教材の活用(児童文化財・絵本)
12	8/26	保育の技術 保育におけるメディアのとらえ方
13	8/27	保育の技術 情報機器の活用(パソコンの基本操作)
14	8/27	保育の技術 情報機器の活用(応用編)
15	8/27	まとめ 保育の技術 情報機器の活用(実演)
試		なし

29年度 特例講座シラバス

幼稚園教諭(1種・2種)免許取得特例講座	
授業科目名	V 幼児理解の理論・方法 ①～⑧
担当講師名	岡林 恭子
PowerPoint	使用する

授業概要と方法

幼児期にふさわしい教育を実践し展開していくためには、一人一人の幼児に対する理解を深め、適切な指導を行うことが大切である。また今回の幼稚園教育要領の改訂の背景や課題を踏まえ、幼児期に育ってほしい姿を明確にすることも重要である。そのためには、具体的なエピソードを通して幼児の思い・興味や関心・言動を読み取り、意見交換しながら幼児理解を深め、教師の援助や環境の構成のあり方についても具体的に・理論的に学ぶ。

授業の到達目標

幼児期の発達の特徴を踏まえて、一人一人の内面を理解するとともに、幼児の主体性や協同性や思考力等を生み出すための多様な指導のあり方について学ぶ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修)

準備学修として「幼稚園教育要領」〈平成29年告示〉(文部科学省)を読み、幼稚園教育の基本を理解しよう。事後には講義で使用したプリントをまとめ、幼児理解を深めよう。

評価方法:(筆記・レポート・作品提出、日常評価等)

意見交換時の積極的な取り組みの姿勢や、学修したことのレポート等による総合評価

参考図書等 「幼稚園教育要領」〈平成29年告示〉 平成29年3月31日 文部科学省 フレーベル館

その他(受講上のアドバイス等)

グループ討議においては積極的に意見交換し、自分自身の課題を明確にするとともに、質の高い幼児教育について考えを深めてほしい。

授業計画

回	日	時限ごとの講義概要など (授業の中に試験を含まない場合は、16時限目が試験となります)
1	7/22	幼児教育の基本 (幼児期にふさわしい生活や遊びと総合的な指導)
2	7/22	幼稚園教育要領の改訂のポイント
3	7/22	幼児を理解するⅠ (一人一人の思い・興味や関心・言動を理解する)
4	7/22	幼児を理解するⅡ (葛藤する心を支える指導)
5	7/23	幼児を理解するⅢ (主体性や協同性を生み出す指導)
6	7/23	環境を通しての指導を考える (環境の構成と再構成)
7	7/23	幼児理解と評価
8	7/23	まとめ